



未来に繋げる記念シンポジウム

信濃川流域の9つの自治体の市町村長からお集まりいただき通水100周年事業の集大成となるシンポジウムを開催しました。



未来に繋げる 記念シンポジウム

2022年大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年を記念して、信濃川流域の9つの自治体の市町村長からお集まりいただき、通水100周年事業の集大成となるシンポジウムを開催しました。

日時 令和4年12月4日(日)13:30~16:00 (予定)

会場 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール (新潟県新潟市中央区中央1-1-1)

参加人数 会場参加:100名、Zoomウェビナー:400名

申込締切 11月21日(日)

プログラム

- 13:00 開会
- 13:20 祝詞・実行委員会挨拶 (新潟市長) (5分)
- 13:35 周年事業報告・メッセージ紹介 (25分)
- 14:00 ディスカッション第1部 (50分)
- 14:30 ディスカッション第2部 (50分)
- 【これまで以上に緊急性を取り組みと今後の展望について】
- 新潟県知事: 新潟市、見附市、加茂市、長岡市、五泉市、燕市、弥彦村、田上町
- 司会: 鎌倉 誠
- 【閉会: フリアクションサー 道高 博理】

会場参加の申し込み

申込: 新潟県庁 総務課 企画・広報課 企画係 025-222-2222

オンライン参加の申し込み

申込: 新潟県庁 総務課 企画・広報課 企画係 025-222-2222

日時: 令和4年12月4日(日)13:30~16:00

会場: 新潟日報メディアシップ

参加: 約120名

主催: 大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念
未来につながる事業実行委員会



前列: 田上町長・弥彦村長・五泉市長・燕市長・新潟市長・長岡市長・三条市長・加茂市長・見附市長
後列: 信濃川河川事務所長・三条地域整備部長・新潟地域整備部長・遠藤麻理・新潟県河川管理課長・長岡地域整備部長・信濃川下流河川事務所長



「このシンポジウムを契機に、川と共に暮らすのが次の世代へ受け継がれていくことを心から願います。」中原新潟市長による開会の挨拶を頂きました。



通水ロゴマークデザインの作成から今日までの周年事業を振り返りました。また、周年事業を通じて集められたメッセージを動画で紹介しました。



第一部では川の「防災」に関する取り組みについて、長岡市、見附市、燕市、弥彦村、田上町の首長から、課題や展望も含めてお話し頂きました。



第二部では「親水・賑わいの創出」をテーマに、新潟市、三条市、加茂市、五泉市よりミズベリングや親水イベントについてお話し頂きました。



当日は会場に100名、オンラインで20名の方が参加。「各自治体の取り組みがよく分かった。両分水の役割等より多くの人々へ伝え、次世代へ繋げてほしい。」などのご意見を頂きました。



「先人達の想いを引き継ぎ、これからの100年を流域自治体と新潟県と国とで協力しながら取り組んでいきたい。」と鈴木燕市長より挨拶を頂き、閉会となりました。